

令和8年度
第1弾

ピボットテーブルを活用した データ分析

Excel

DX

コース番号：104-011

2026年

開催日時：**7月3日(金)&10日(金)** 募集締切：**6月19日(金)****9:30~16:30** (各日6時間)

開催場所：山梨総合ビジネス株式会社 甲府教室 (裏図参照)

定員：**12名** (先着順)

推奨者：Excel操作ができ、大量のデータを集計したり分析したい方

受講料

3,300円 (税込)

コースの狙い

表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得します。

主な訓練内容

◎ 多角的データ分析

(1) ピボットテーブルとは

ピボットテーブルの役割を説明し、業務の時短につながるメリットを確認し、用意された大量データを任意の形式に分類、集計する方法を学びます。
・ピボットテーブルの特徴と各部の名称 ・集計データのルール

(2) ピボットテーブルの作成

アンケート集計表や年間売上表など基本的な使い方を学びます。
・ピボットテーブルの作成手順 ・データの更新 ・データの絞り込み

(3) ピボットテーブルの活用

・フィールドエリアの変更 ・データのグループ化 ・集計方法の変更

(4) スライサーの活用

スライサーを利用し、特定のデータを抽出した集計結果をワンクリックで切り替えられる方法を学びます。
・スライサーの利用 ・複数のスライサーの利用 ・スライサーのスタイル ・タイムライン

◎ ピボットグラフによるデータの見える化

(1) ピボットグラフとは

ピボットグラフと普通のグラフとの違いを確認します。
・ピボットグラフの特徴 (普通のグラフとの相違点) と各部の名称

(2) ピボットグラフの作成

グラフの特徴を理解し、データの可視化に効果的なグラフの種類を確認します。
・ピボットグラフの作成手順 ・ピボットグラフの要素の設定

(3) ピボットグラフの種類の変更

棒グラフ、円グラフ、複合グラフなどを作成します。
・グラフの種類の変更 ・各グラフの特徴 ・フィールドの入れ替え

◎ 複数テーブルの分析

複数のテーブルを使った集計メリット、情報を一元管理したシート作成方法を学び、「顧客管理表」を元に様々なデータを作成します。

(1) リレーションシップの設定

・リレーションシップの仕組み ・リレーションシップの設定

(2) 複数テーブルのデータ集計

・複数テーブルからピボットテーブルを作成 ・PowerQueryの活用

【演習】・資材購入記録表の作成 (集計データのグループ化) ・アンケート集計表の作成 (集計方法の変更) ・年間売上表の作成 (集計とデータの更新、複数テーブルの集計) ・ピボットグラフ (棒グラフ、円グラフ等の作成) ・顧客管理表、資材売上分析表の作成 (PowerQueryの利用)

◎ 訓練内容のココがポイント!

- ・ピボットテーブルの基本から学び、操作に慣れたところで様々な集計方法を学べる内容としています。
- ・同じデータを繰り返し使うことで、1つのデータでも様々な視点から分析できることを理解し、その操作方法を習得します。
- ・ピボットテーブルやエクセルの細かいテクニックを学ぶことで、分かりやすい集計表を作成できるようになります。
- ・サブ講師がつくので、安心して受講することができます。

実施機関 & 講師

山梨総合ビジネス
株式会社教室長 **小林 智恵美氏**

講師Profile

パソコンインストラクター歴18年。
システム開発や事務経験を経て、山梨総合
ビジネス株式会社において職業訓練の講師に
従事している。

各種パソコンに関する資格保有。

お申し込みは

※ 当HP内「令和8年度オープンコース第1弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース受講申込書」があります。